

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（高等学校 新訂現代の国語（第一学習社））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】言語や表現の特性に対する理解を深め、社会生活に必要な国語の知識・技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力、他者への共感性、豊かな想像力を培い、伝え合う力を高め、自らの考えを広め深める。
- 【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き言葉による認識を深め、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語の能力を向上させる態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会で求められる、他者と関わる上で必要な国語の知識・技能を身に付けるようにする。	言葉による思考や認識を働かせながら論理的思考力、他者に共感する力、想像力を育み、伝え合う力と思考力を高める。	言葉に思考や認識を支える働きがあることを理解するとともに、読書に親しむ姿勢を育て、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わる態度を培う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>単元 比較文化</p> <p>【知識及び技能】本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・例示などの修辭を理解する。</p> <p>・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・論理的な文章や実用的な文章を読み、必要に応じて本文や資料を引用して文章を書く</p> <p>・教材 「水の東西」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <p>・本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</p> <p>・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。</p> <p>・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>単元 自己と他者を見つめる</p> <p>【知識及び技能】本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。</p> <p>・教材 「「本当の自分」幻想」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>		○		<p>【知識及び技能】</p> <p>・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</p> <p>・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。</p> <p>・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査						○	○		1

1 学期	<p>単元 文章の対比構造を捉える</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材 「「間」の感覚」 「日本語は世界をこのように捉える」 ・一人1台端末の活用 等 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。 	○	○	○	8
	<p>単元 具体と抽象の関係捉える</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材 「ものとことば」 ・一人1台端末の活用 等 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。 ・言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。 	○	○	○	7
定期考査						○	○		1
	<p>単元 科学と技術の現状を考える</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材 「「文化」としての科学」 ・一人1台端末の活用 等 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。 	○	○	○	5

	<p>単元 比較を通して表現への理解を深める</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な常用漢字、語句・語彙の文化的背景を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえて課題に沿って内容を記述し、説明する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述課題に粘り強く取り組む。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。「羅生門」 ・教材「羅生門」 等 一人1台端末の活用 等 			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。 					8	
	定期考査										1
2 学 期	<p>単元 情報とメディアの現状を考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材「現代の「世論操作」」 ・一人1台端末の活用 等 			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。 					8	

	<p>単元 社会と政治の現状に注目する</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材 「フェアな競争」 ・一人1台端末の活用 等 	○		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</p> <p>・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。</p> <p>・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査						○	○		1
3学	<p>単元 近代化について考える</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材 「不均等な時間」 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</p> <p>・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。</p> <p>・既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。</p>	○	○	○	5

期	<p>単元 資料比較</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめる。 複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめる。 	<p>・指導事項</p> <p>資料を読み比べて必要な情報を読み取る。また、複数の情報を関連づけ、理解したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 図表等を読み、理解したことをまとめる。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ 教材「日本の労働問題に関わる資料を読み比べる」 			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする。 複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとする。 	○	○	○	8
定期考査						○	○		1
									合計
									70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（高等学校 改訂版 精選言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】言語や表現の特性に対する理解を深め、社会生活に必要な国語の知識・技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力、他者への共感性、豊かな想像力を培い、伝え合う力を高め、自らの考えを広め深める。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き言葉による認識を深め、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語の能力を向上させる態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語知識・技能を身に付けると共に、我が国の言語文化に対する理解を深める。	言葉による思考や認識を働かせながら論理的思考力、他者に共感する力、想像力を育み、伝え合う力と思考力を高める。	言葉に思考や認識を支える働きがあることを理解するとともに、読書に親しむ姿勢を育て、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わる態度を培う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
<p>児のそら寝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 教材 「児のそら寝」〔絵仏師良秀〕 <p>・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 	○	○	○	6
<p>訓読に親しむ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語文化に特徴的な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 古典に親しむため、読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訓読するための基礎知識として、返り点や再読文字の種類、読み方を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎的な返り点等の知識を習得する。 故事成語等にふれ、語彙を増やす。 自国の文化と外国の文化の関係について理解する。 教材 「訓読に親しむ一～三」 <p>・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語文化に特徴的な語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとする。 古典に親しむため、読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訓読するための基礎知識として、返り点や再読文字の種類、読み方を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けようとする。</p>	○	○	○	8
定期考査						○	○		1
<p>1 学 期</p> <p>なよ竹のかぐや姫</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中にある特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握する。 作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉える。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 教材 「なよ竹のかぐや姫」 <p>・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握している。 作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 	○	○	○	8

	<p>単元 故事成語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語文化に特徴的な語句の量を増やす。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの考え方や見方を広げる。 ・基礎的な返り点等の事項を習得する。 <p>・教材 「狐借虎威」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語文化に特徴的な語句の量を増やす。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	○	○	○	8
	<p>単元 俳句</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語文化に特徴的な語句の量を増やす。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの考え方や見方を広げる。 ・基礎的な返り点等の事項を習得する。 <p>・教材 「こころの帆」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語文化に特徴的な語句の量を増やす。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。 	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
2 学 期	<p>伊勢物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 <p>・教材 「伊勢物語」芥川、東下り、</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 	○	○	○	9
	<p>唐詩</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の技法とその効果について理解する。 ・古典を読むために必要な訓読のきまりを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現や技法に留意して漢詩を鑑賞する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩を読み比べ、情景や心情を説明する。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な返り点等の事項を習得する。 ・表現や技法にふまえて漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然などどのような思いを向けていたのかを読み取る。 <p>・教材 「唐詩の世界」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の技法とその効果について理解する。 ・古典を読むために必要な訓読のきまりを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現や技法に留意して漢詩を鑑賞する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩を読み比べ、情景や心情を説明する。 	○	○	○	7
	<p>日本の近現代詩</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の技法とその効果について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を知り、作中の人物の考えを読み取る。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に作品を読み、人物の考えや人物像を説明する。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を知り、作中に書かれた人物の考えや人物像を読み取る。 <p>・教材 「整のうへ、一つのメルヘンなど」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の技法とその効果について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を知り、作中の人物の考えを読み取る。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に作品を読み、人物の考えや人物像を説明する。 	○	○	○	6
		定期考査				○	○	

2 学 期	土佐日記	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材 「土佐日記」 門出、帰郷 ・一人1 台端末の活用 等 		<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <ul style="list-style-type: none"> 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <ul style="list-style-type: none"> 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりする。 					10
	単元 史伝 <ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむため、古典を読むために必要なきまり等を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時代背景を知り、作中の人物の考えを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に作品を読み、人物の考えや人物像を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・時代背景を知り、作中に書かれた人物の考えや人物像を読み取る。 ・教材 「史伝」 ・一人1 台端末の活用 等 		<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむため、古典を読むために必要なきまり等を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時代背景を知り、作中の人物の考えを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に作品を読み、人物の考えや人物像を説明する。 					8
	定期考査								1
3 学 期	平家物語	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材 「平家物語」 木曾の最期 ・一人1 台端末の活用 等 		<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <ul style="list-style-type: none"> 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <ul style="list-style-type: none"> 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。 					9
	論語	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・ものの方や見方を広げる。 ・訓読の決まりを理解する。 ・教材 「論語」 ・一人1 台端末の活用 等 		<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現に理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・孔子のものの見方、考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・孔子について図書館等の資料を用いて調べる。 				8	

<p>近現代の短歌と和歌</p> <p>【知識及び技能】 ・日本の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語彙を豊かにする。 ・枕詞や序詞などの日本の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・日本の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。</p>	<p>・指導事項 ・和歌という文章の種類を踏まえて、合理的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・教材 「その子二十」「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・枕詞や序詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、黎明期の和歌の特色を捉えている。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。</p>																	8
合計																					
105																					

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（実教出版『歴史総合 新訂版』むすびつく世界と日本）

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジア、ヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における生産と流通などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17世紀から始まり18世紀から19世紀にかけての日本やヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国の政治に影響に着目して、主題を設定し、周辺地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の関わりや、現在との違いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。 	<p>①17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つのロや周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解させる。□</p> <p>②18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における生産と流通、アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解させる。□</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	10
<p>1学期</p> <p>定期考査</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基にヨーロッパとアジアとの経済と社会を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国とアジアの相互影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭にかけての日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の関わりや、現在との違いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しをもって学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。 	<p>①19世紀後半のヨーロッパの動きと日本の明治政府の政策、日本と欧米諸国の外交関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解させる。□</p> <p>②19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1

	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴェト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。□ <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の推移と影響、第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、第一次世界大戦後の社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の関わりや、現在の違いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだし、見通しをもって学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。 	<p>①第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。</p> <p>②第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	12
2学期	<p>定期考査</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。 	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解させる。 	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	17
定期考査				○	○		1 70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

公民 科公共

教科：公民 科目：公共

単位 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（清水書院『高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会』）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 生涯における青年期の意義や、現代社会における青年の状況について理解し、その基本的な知識を身につけている。先哲の在り方生き方について理解を深めている。その思想に関する基本的な知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の内面形成と社会との関わりに着目しながら、自己形成の課題について考察し、適切に表現している。先哲の在り方生き方に触れて考えたことを、自らの言葉で適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自らが公共的な空間をつくる主体であることを自覚している。よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者とともによりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。・ギリシャ哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における宗教や芸術の持つ意義について理解させる。・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 統計データ・新聞・原典資料・芸術作品などからの読み取り、ワークシート、小テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	7
<p>【知識及び技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。生命科学や科学技術の進展にもない、様々な課題が生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身につけている。環境に関わる政治・経済体制や倫理観の重要性を理解し、その基本的な知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などの倫理的価値をふまえ、倫理的価値や人間としての在り方生き方を、多面的・多角的に考察し、表現している。行為の結果としての個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を対比したり、思考実験など概念的な枠組みを活用したりしながら、倫理的価値や人間としての在り方生き方について考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる人間としての在り方生き方について考えようとしている。よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会の在り方について考察させる。・生命科学や医療技術の進展にもなってきた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会の在り方について考察させる。・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己の在り方について考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 統計データ・新聞・原典資料・芸術作品などからの読み取り、ワークシート、小テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	3
<p>【知識及び技能】 近現代の思想家の在り方生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身につけている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。公共的な空間をつくるうえで、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保とともに図ることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などの倫理的価値を踏まえ、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原則について、現代の諸課題と結びつけて考えようとしている。よりよい社会の実現のための行動に主体的に関わりようとしている。</p>	<p>・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。・ハーバーマスのアールント、ロールズの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	7
<p>【知識及び技能】 近代民主主義国家の成立や基本的な原理を、関係する諸資料などから適切に指摘できる。日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代民主主義国家における課題を見出し、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。</p>	<p>・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解を深める。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>定期考査</p>			○	○		1

	<p>【知識及び技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。憲法の平和主義についての内容や、今日の安全保障をめぐる情勢について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察し、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断・考察・表現している。平和主義と今日の安全保障政策の課題や方向性について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な見方を踏まえて判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心をもち、自己の生き方と結びつけて考察しようとしている。国際協調と平和主義を基礎とする日本の安全保障と自己の生き方を結びつけて関心を高めている。</p>	<p>・日本国憲法の二つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解させる。・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>				7
	<p>【知識及び技能】 現代の民主政治と政治参加に関する諸資料をメディアから適切に選択し、効果的に活用し、民主政治と政治参加に対する理解を深め、その基本的な知識を身につけている。選挙に関する諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取ることができる。選挙と政党についての知識を身につけ、現状を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の民主政治と政治参加に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。</p>	<p>・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治のしくみと世界の政治制度について理解させる。・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、主権者（有権者）として社会に関わる意識を高めさせる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2学期	<p>【知識及び技能】 国会・内閣・司法・地方自治についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、政治・統治のしくみについての基本的知識を身につけ、理解している。国会・内閣・司法・地方自治についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、政治・統治の現状や多様な見方を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断している。司法や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結びつけて考察しようとしている。社会における課題を解決するため、政治に参加する意欲を高めている。</p>	<p>・国民主権を中心とした立法、行政、司法のしくみと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。・司法制度のしくみと課題を理解させ、よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察させる。・地方自治のしくみを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	5
	<p>【知識及び技能】 国際社会の基本的な考え方や国際連合などについての諸資料を活用して、国際社会のしくみを調べることができる。国際法の役割、国際連合のしくみや機能、人権に関する諸条約などについての知識を身につけ、理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正の観点から、国際社会における諸問題への見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における主権国家間の関係に関心をもち、国際社会の動向を主体的に考察しようとしている。</p>	<p>・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進んでいる国際社会の在り方や課題を多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】 戦後の国際政治に関する諸資料を収集し、分析することで、国際政治の変化を理解することに活用できる。戦後の国際政治の動きや現代の国際紛争、資源、兵器などの課題や安全保障問題などについて基本的な知識を身につけ、今日の国際情勢について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 戦後の国際政治の動向に関心をもち、日本の在り方と結びつけて考察しようとしている。</p>	<p>・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>【知識及び技能】 私たちの生活における経済の役割について、学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、特に消費者の権利と責任・契約・職業選択・マクロ経済などの項目について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 私たちの生活における経済の役割について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 私たちの生活における経済の役割について、その社会に生きる自らの考えに近づけて考察しようとしている。</p>	<p>・私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	3
	<p>【知識及び技能】 現代の市場、金融、財政などの経済活動の在り方について、学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用している。企業や雇用、社会保障などの問題に関する諸資料を分析し、効果的に活用している。市場、金融、財政のしくみについて基本的な知識を身につけ、市場経済の課題について理解している。企業や雇用、社会保障などの現状について知識を身につけ、その課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の市場、金融、財政の課題について、また、日本の企業、雇用、社会保障などの問題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の市場、金融、財政の動向に関心を高め、自己の生き方に結びつけて考察しようとしている。企業、雇用、社会保障などの問題と自己の生き方を関連させて考察しようとしている。</p>	<p>・市場経済の機能、金融や財政のしくみについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。・現代の企業のしくみと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。・日本経済のあゆみを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】 国際経済に関する諸資料を様々なメディアから収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。国際経済についての基本的な知識を身につけ、その課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際経済に関する諸問題や、国際的な経済協力の必要性、国際社会における日本の経済的役割について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際経済に関する諸問題に関心を高め、国際的な経済協力の必要性や国際社会における日本の経済的役割について考察しようとしている。</p>	<p>・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	3
	<p>【知識及び技能】 無し</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 これまでの学習をもとに、現代社会の課題である、人工知能・環境・資源・少子高齢化・地域社会について、幸福、正義、公正の観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察し、これまでの学習内容を効果的に活用して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の課題について、これまでの学習内容を効果的に活用して考察しようとしている。持続可能な社会づくりを担う、自立した主体として、主体的に社会に参画しようとしている。</p>	<p>・これまでの学習を基礎に、人工知能・環境・資源・少子高齢化・地域社会について、「幸福」「正義」「公正」などの観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察させる。・持続可能な社会づくりを担う、公共の精神を持った自立した主体として、主体的に社会に参画し、ともに生きる社会を築くという姿勢を身につけさせる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>		○	○	7
定期考査				○	○		1 合計 70

高等学校 令和8年度（1学年） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： (高等学校 数学 I (数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	4月 数と式 【知識及び技能】二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 因数分解 実数 1次不等式 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8
	5月 数と式 【知識及び技能】二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 因数分解 実数 1次不等式 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	6月 命題と証明 【知識及び技能】集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 命題と証明 命題と条件 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	7月 命題と証明 【知識及び技能】集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 命題と証明 命題と条件 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8
	定期考査			○	○		
	9月 一次関数 【知識及び技能】二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 関数とグラフ 2次関数のグラフ ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
10月 二次関数 【知識及び技能】二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 関数とグラフ 2次関数のグラフ ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	11	
定期考査			○	○			

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（高等学校 生物基礎（第一学習社））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	生物の特徴 【知識及び技能】 生物の基本単位である細胞の形態と機能について理解する。顕微鏡の使用方法について習熟する。 【思考力、判断力、表現力等】 細胞レベルでの生命現象を、細胞内の化学反応をもとにして説明することができる。生物の多様性と共通性について、生物進化との関係から説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヒトと関わりのある微生物の世界に興味を持ち、自ら文献等を調べるとともに、顕微鏡を用いた観察を計画する。	生物の多様性 生物の共通性 DNAの抽出 系統と系統樹 生物の系統 細胞小器官の特徴と起源 生命活動とエネルギー 同化と異化 光合成 呼吸 酵素の特徴 カタラーゼの特徴	【知識・技能】 ・実験観察に関する器具の取り扱い方が適切に身に付いている。 ・生物は多様でありながら共通性をもつことを理解している。 ・生物の共通性は起源の共有に関連することを理解している。 ・生命活動には、エネルギーが必要であることに気づくことができる。 【思考・判断・表現】 ・顕微鏡観察から、生物は細胞 という共通性をもつことに気づくことができる。 ・脊椎動物の共通する特徴が祖先の共有に由来することに気づくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察、実験に積極的に関わろうとしている。 ・資料にもとづき説明しようとしている。 ・自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	遺伝子とその働き 【知識及び技能】 生命の設計図であるDNAを中心に、分子生物学の基礎的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 DNA研究の諸実験について、研究方法を科学的に理解し説明できる。形質発現について、塩基配列をもとにタンパク質合成が行われる過程を踏まえて、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 バイオテクノロジーの発展がもたらす恩恵と倫理的な問題の両面を意識し、先端技術に対する自己の考えを形成する。	DNAの構造□ 半保存的複製□ 体細胞分裂□ 体細胞分裂の流れ□ 体細胞分裂の観察 遺伝情報の発現 DNAとタンパク質□ 転写と翻訳□ 遺伝暗号表 遺伝子とゲノム□ だ腺染色体の観察□	【知識・技能】 ・観察に関する器具の取り扱い方が適切に身に付いている。 ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を理解している。 ・塩基の相補性と細胞分裂に伴うDNAの複製を関連づけて理解している。 【思考・判断・表現】 ・資料にもとづき、DNAの複製のしくみを考察することができる。 ・資料にもとづき、塩基配列とアミノ酸配列の関係を考察することができる。 ・遺伝暗号表から、mRNAの塩基配列で指定されるアミノ酸を読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの分子モデルの作成から、二重らせん構造や複製のしくみを理解しようとしている。 ・自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>ヒトのからだの調節</p> <p>【知識及び技能】 体内の臓器の名称、働きについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 臓器のネットワークが恒常性を維持するしくみを説明できる。体が外部環境から大きく影響を受けたときに、体内ではどのような変化が起こるのかを推定できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体内の恒常性のしくみの理解を生かして、健康を意識した生活を送る。</p>	<p>恒常性と体内環境□</p> <p>恒常性の維持</p> <p>脳幹のはたらき</p> <p>自律神経系の種類とはたらき</p> <p>心臓の自動性のしくみ</p> <p>内分泌系□</p> <p>フィードバック調節のしくみ</p> <p>血糖濃度の調節とインスリン</p> <p>自律神経系と内分泌系の協働</p> <p>糖尿病□</p> <p>体温調節のしくみ</p> <p>血液凝固のしくみ□</p> <p>血液凝固の観察□</p> <p>各器官の観察</p> <p>物理的・化学的防御</p> <p>自然免疫と白血球□</p> <p>食作用の観察</p> <p>免疫細胞と器官のはたらき</p> <p>自然免疫のしくみ□</p> <p>体液性免疫</p> <p>免疫寛容</p> <p>自然免疫と獲得免疫の関係</p> <p>獲得免疫</p> <p>二次応答</p> <p>拒絶反応</p> <p>免疫反応の全体像の確認</p> <p>自然免疫と獲得免疫の関係</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自律神経系と内分泌系の働きによって体内環境が一定に保たれていることを理解している。 運動前後の心拍数の測定結果を適切に処理することができる。 内分泌腺やホルモンの名称と働きを理解している。 血糖濃度の調節におけるホルモン分泌と自律神経系の関わりについて説明することができる。 各種免疫細胞の名称と働きを理解し、病原体が侵入してから自然免疫、獲得免疫が発動するまでの流れを理解している。 実験観察に関する器具の取り扱い方が適切に身に付いている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料にもとづき、体内での情報の伝達がからだの調節に関わっていることを考察することができる。 資料にもとづき、インスリンの働きについて考察することができる。 資料にもとづき、病原体に対する好中球の働きを考察することができる。 資料にもとづき、同じ感染症に2度目はかかりにくい理由を考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験に積極的に関わろうとしている。 自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 観察に積極的に関わろうとしている。 免疫細胞のコマを用いた活動に積極的に取り組み、自分の学習状況を振り返ろうとしている。 				25
	定期考査			○	○		2
3 学 期	<p>植生と遷移</p> <p>【知識及び技能】 環境要因と植物間の競争の関係をもとに、植生の遷移やバイオームの分布について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 植生の状況から、その地域の環境を推定できる。環境の変化にともない植生がどのように遷移していくのか推定できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りや旅行先に生育する植物へ関心を寄せ、自ら調べる。生物進化や人類の歴史を、地球史における植生の変遷と結び付けて考察しようとする。</p>	<p>植生の種類</p> <p>土壌の構造</p> <p>森林の構造</p> <p>光－光合成曲線</p> <p>陽性植物と陰性植物</p> <p>遷移の様子□</p> <p>遷移の流れとしくみ</p> <p>バイオーム</p> <p>世界のバイオーム</p> <p>日本のバイオーム（水平分布と垂直分布）</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植生が移り変わる主な要因は光・土壌の環境の変化によるものであることを理解している。 陸上のバイオームは植生の違いをもとに区別することができ、その分布を決める主な環境要因は年平均気温と年降水量であることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植生と光・土壌の関係を考察することができる。 資料にもとづき、遷移の要因を考察することができる。 資料にもとづき、バイオームの分布を決める要因を考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に積極的に関わろうとしている。 自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 				9
	<p>生態系とその保全</p> <p>【知識及び技能】 生態系の構成と平衡について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人間活動や天変地異が生態系にどのような影響をもたらすのか推定することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球環境の諸問題に対して、SDGsの視点を踏まえ、主体的に取り組もうとする。</p>	<p>生態系を構成する成分</p> <p>生態系内の種の多様性と環境の関係</p> <p>生態系の種類</p> <p>食物連鎖、食物網</p> <p>キーストーン種</p> <p>生物濃縮</p> <p>調べ学習</p> <p>学習発表</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生態系は、非生物的環境と生物からなることを理解している。 生物集団には生産者と消費者があり、食物連鎖などの生物間のつながりがあることを理解している。 個体数などは一定の範囲内で変動するものの、生態系全体のバランスは保たれていることを理解している。 人間活動が生態系に及ぼす影響を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境の違いと種の多様性との関連を考察することができる。 上位の栄養段階の生物が生態系に与える影響について考察することができる。 資料にもとづき、生態系のバランスが保たれる流れを考察することができる。 オオクチバスが在来種に与える影響について考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察に積極的に関わろうとしている。 自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 オオクチバスが在来種に与える影響について、見通しをもって調べようとしている。 				9
定期考査			○	○		1	
						合計	
						70	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるよう

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
<p>陸上競技</p> <p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタート ・50mタイム計測 ・100mタイム計測 ・ハードル走 ・記録会 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①知識の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>②中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることができる</p> <p>③スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自主的に練習に取り組むことができる。</p> <p>②周囲と協力して練習したり記録会の運営をすることができる。</p>	○	○	○	12
<p>バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付けられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ストローク ・サービス ・ショット別ラリー ・シングルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・ダブルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・リーグ戦 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①用具の準備、準備運動、練習の仕方やバドミントンの用語を知っている。</p> <p>②個人的技能の構成と自分のレベル、それら高めるための練習の仕方を把握している。</p> <p>③各種フライングやサービス、レシーブなどの個人的技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。</p> <p>②試合の結果や対戦相手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自主的に練習に取り組もうとしている。</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>ニュースポーツ</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間との連携した動きでゲームを展開できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする事、仲間の学習を援助しようとする事などや、健康・安全に気を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モルック ・インディアカ ・ディスクゴルフ 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①用具の準備、準備運動、練習の仕方や各種スポーツのルールを理解することができる。</p> <p>②個人的技能の構成と自分のレベルを高めるための練習の仕方を把握することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫することができる。</p> <p>②試合の結果や対戦相手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自主的に練習に取り組もうとしている。</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	12

<p>バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種パス ・パスラリー ・サーブ ・サーブレシーブの練習 ・スパイク ・ルールとゲームの進め方を理解する。 ・チームで作戦を立ててゲームをする。 ・ゲームの運営 	<p>【知識・技能】 ①空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。 ②ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 ③試合の運営の仕方を知っている</p> <p>【思考・判断・表現】 ①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の仕方のポイントを見つけている。 ②自己やチームの課題を見つけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①自主的に練習に取り組もうとしている。 ②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	12
---	--	---	---	---	---	----

	<p>ソフトボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の確認・キャッチボール ・ゴロ、フライ、バウンドなど ・トスバッティング ・シートノック ・シートバッティング ・ケースノック ・チーム別練習 ・ゲーム 	<p>【知識及び技能】 ①技術の名称や行い方について学習した内容を挙げている。 ②攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などの動きができる。 ③攻防を展開するための安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①自主的に練習に取り組もうとしている。 ②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	12
2 学期	<p>卓球</p> <p>【知識及び技能】 ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうということ、作戦などについての話し合いに参加しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようということ、仲間の学習を援助しようということなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ストローク ・サーブ ・レシーブ ・ラリー ・シングルスゲームのルールを確認 ・ダブルスゲームのルールを確認 	<p>【知識・技能】 ①球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて学習した具体例を挙げている。 ②サーブでは、ボールをラケットの中心付近で捉えることができている。 ③ラリーを継続しやすい位置にボールをつなぐことができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習に自主的に取り組もうとしている。 ②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	12

<p>フロアボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したスティック操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということなどや健康偉・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パス ・ドリブル ・シュート ・2対1、3対2 ・ゲームのルールと運営の仕方を確認 ・リーグ戦 	<p>【知識及び技能】 ①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ②ゴール前での攻防を展開するためのスティック操作と空間に走りこむなどの動きができる。 ③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したスティック操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習に自主的に取り組もうとしている。 ②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	
--	---	--	---	---	---	--

3 学 期	<p>サッカー</p> <p>【知識及び技能】 技術などの名称や行い方、課題解決の方法などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種パス コンドリブル 各種シュート ミニゲーム ルールの理解 チームの課題に応じた練習 ゲーム 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防することができる。</p> <p>②対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>③学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> チェストパス、バウンズパスの練習 スクエアパス 2ボールパッシング 1ボールハンドリング 2ボールハンドリング フォローアップシュート：30秒間でゴール下シュートを交互に打つ 基本のレイアップシュートの練習 様々なステップを使用したレイアップシュートの練習 アウトナンバーの攻め方を確認して、練習 ドリブルなしの3対3、4対4、5対5を通して、パスランを学び、空いたスペースに飛び込む動きを習得する スクリーンプレーの仕方とルールを確認する 2対2の練習でスクリーンプレーを練習する チームの課題に応じた練習をする ゲーム運営 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。</p> <p>③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</p> <p>②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>持久走</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、一定のペースで走り続ける技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 長距離に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 持久走の授業について確認 タイム計測 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。</p> <p>③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</p> <p>②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	9
							合計
							105

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 50 大修館 保体701 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 「現代社会と健康」 【知識及び技能】 ・健康の考え方の変化について理解できる。 ・健康を成り立たせている要因について理解できる。 健康水準の変化とその背景について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 健康問題について例をあげて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 健康問題の変化について意欲的に学ぶことができる	○指導事項 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	【知識・技能】 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ・主体要因と環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ・我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考査				○	○	
2 学 期	A 「現代社会と健康」 【知識及び技能】 ・健康の考え方の変化について理解できる。 ・健康を成り立たせている要因について理解できる。 健康水準の変化とその背景について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 健康問題について例をあげて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 健康問題の変化について意欲的に学ぶことができる	○指導事項 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	【知識及び技能】 ・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 ・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査				○	○	

3 学期	<p>B「安全な社会生活」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計

都立向丘高等学校 令和8年度

芸術

科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（大修館 音楽 I 改訂版 Tutti+）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
正しい発声を身に付けて、豊かな声で歌おう 【知識及び技能】 歌唱表現の特徴について理解し、身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながらどのように歌うかについて表現意図をもって歌唱する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする事への関心を高める。	【指導事項】 ・発声の基礎を学ぶ。 ・混声2部、3部、4部合唱曲に取り組み、ハーモニーの作り方を学ぶ。 ・混声合唱の基礎を学び、より深い表現を作り上げる。 【教材】 ・君に届くまで ・校歌 ・故郷 ・声という大切な楽器 ・歌声づくりのエクササイズ	○		○	【知】 様々な歌唱表現の特徴について理解し、姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱している。 【思】 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながらどのように歌うかについて表現意図をもって歌唱している。 【態】 音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする事に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組んでいる。	○	○	○	9	
音楽と様々な芸術の関わりを理解して総合芸術を味わおう 【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考えて鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかに関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞する。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める。 【教材】 ・魔笛 ・オペラ座の怪人 ・歌舞伎「勧進帳」 ・人形浄瑠璃「国姓爺合戦」			○	【知】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思】 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考えて鑑賞している。 【態】 総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかに関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	7	
クラシックギターに触れ、アンサンブルを楽しもう 【知識及び技能】 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように演奏するかについて表現意図をもって演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 奏法を身に付け、音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をする事に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・ギターの基本奏法を理解し、ギターアンサンブルに親しむ。 ・ふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 【教材】 ・ハッピーバースデートゥーユー ・カントリーロード	○		○	【知】 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって演奏している。 【態】 ギターの奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をする事に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	6	
実技試験 筆記試験		○	○				○	○		2

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（美術 1 光村図書）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術及び美術文化に対する知識を深め、創造的な美術の表現をするために必要な技能などの基礎・基本を基に、創意工夫した学習活動に取り組もうとすることができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組むとともに、主体的に造形活動や学習に対する態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映						
・オリエンテーション（1時間） 【知識及び技能】 年間指導計画、教材の揃え方、評価についての理解させる。	・年間指導計画、教材、評価について説明する。	○	○		○		○			1
絵画「クロッキー」 【知識及び技能】 よく見ること、よく観察することを心がけモデルの形態をよく捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 線の太さや強弱を生かして自分なりの表現を探究する。 【学びに向かう力、人間性等】 成長する意欲をもって、よく取り組む。自分の良さを活かす表現方法を見出す	・鉛筆デッサンの基礎・基本 ・自画像制作を通して表現力の育成など <教材>鉛筆（HB～2B）、ワークシート、参考作品例 ・一人1台端末の活用 クロッキーの作品を写真にとり、授業内で他の生徒と共有する。	○			○		○	○	○	3
※定期考査は実施しない。 色彩演習 【知識・技能】 ワークシートに色の三属性を理解し彩色+C52 【思考・判断・表現】 配色の効果を正しく理解し、適切な配色で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片付けを適切に行い、作品を汚さない等完成に配慮して制作することができる。	・色彩ワークシートにアクリル絵の具で彩色する <教材>ワークシート、アクリル絵の具セット、教科書 ・一人1台端末の活用 配色の見本をteamsで配布。	○	○		○			○		4
デザイン「文化祭ポスター」をつくる。 【知識及び技能】 ポスターについて理解し、形や色彩がもたらす効果を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭ポスターの効果を考え、形や色彩を工夫して、創意工夫した表現に発展する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 完成まで、計画的に取り組む。	・主題（テーマ）設定にあった構想（配色やレタリング）を練る。 ・アクリル絵の具や筆などの使い方と生かし方を考えさせる。 ・生活を楽しくするデザインの効果に気付く。 ・一人1台端末の活用 前単元で使用した配色の資料を参考にする。資料として使う <教材> ケント紙、アクリル絵の具、筆、教科書など		○		○		○	○	○	15
自己評価票の作成を通して、自らが主体的な活動ができたか評価する。	1学期を自己評価票で振り返り、各項目に答えながら自己評価する。				○				○	1

高等学校 令和8年度(1学年用)教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅠ 単位数: 4 単位

対象学年組: 第1学年 1組~ 7組

使用教科書: CREATIVE ENGLISH COMMUNICATION I (第一学習社)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】単元の内容の概要や要点を理解することができ、関連する事柄について英語でやり取りすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】単元の内容に関連する事柄について理解を深め、考え、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】単元の内容に関連する事柄について、自分に関連付けて考える。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の内容に関連する事柄についての会話や説明を理解することができる。単元の内容に関連する事柄についての発表の概要や要点を理解することができる。単元の内容に関連する事柄についてやり取りすることができる。	絵や写真を見せながら単元の内容に関連する事柄について話したりプレゼンテーションをすることができる。単元の内容に関連する自分や自分の周りのことについて簡潔に書くことができる。	単元の内容に関連する事柄について、自分に関連付けて考え、これまでの人間の歩み、自分たちに今何ができるのか、将来の人生の選択などについて考えを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
Lesson 1 <題材内容とねらい> ・夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分自身の「目標達成シート」を書くことができる。 <文型・文法事項> ・to-不定詞, 動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・読み手に配慮して、わかりやすく「目標達成シート」を書こうとしている。	Focus on Listening T1.2 Reading Flash L1.2 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus	○	○	○	【知識・技能】 夢の実現に関するメッセージを理解することができる。夢の実現に関するメッセージについての英文の概要や要点を理解することができる。夢の実現に関するメッセージについてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、自分自身の「目標達成シート」を書くことができる。 【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。	○	○	○	13
Lesson 2 <題材内容とねらい> ・食事を摂ることの素晴らしさなどのように味覚を感じるかについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・どんな料理を作れるかと忘れられない食事について説明することができる。 <文型・文法事項> ・現在完了形, 分詞の形容詞用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語のリズムやイントネーションに注意して、英文を音読することができる。 <場面・状況など> ・忘れられない食事についてまとめ、スピーチをする。	Focus on Listening T3.4 Reading Flash L3.4 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus	○	○	○	【知識・技能】 食事を摂ることの素晴らしさを理解することができる。味わうことについての英文の概要や要点を理解することができる。味について様々な要因があり、それに関してやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 自分が作れる食事や忘れられない食事について説明することができる。 【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。	○	○	○	13
中間考査		○	○			○	○		1

1 学期	<p>Lesson 3 <題材内容とねらい> ・電話の発展についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、未来の携帯電話について想像し、それについてプレゼンテーションをすることができる。 <文型・文法事項> ・現在完了進行形、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・意味のまとまりに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。</p>	<p>Focus on Listening T5.6 Reading Flash L5.6 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 携帯電話の発展について理解することができる。携帯電話の発展についての英文の概要や要点を理解することができる。携帯電話の発展についてやり取りすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、未来の携帯電話を想像し、それについてプレゼンテーションをすることができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。</p>			13
	<p>Lesson 4 <題材内容とねらい> ・絶滅危惧種の保護のあり方についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、絶滅危惧種の保護を訴えるポスターを作り、それを説明することができる。 <文型・文法事項> ・助動詞+be+過去分詞, It seems that …について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・ディスコースマーカーに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ポスターの構成や作成方法を理解し、聞き手や読み手に配慮して、わかりやすくポスターを作成し、それを説明しようとしている。</p>	<p>Focus on Listening T7.8 Reading Flash L7.8 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 絶滅危惧種の保護のあり方を理解することができる。絶滅危惧種の保護のあり方についての英文の概要や要点を理解することができる。絶滅危惧種の保護のあり方についてやり取りすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、絶滅危惧種の保護を訴えるポスターを作り、それを説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。</p>			13
期末考査			○	○			○	○	1
	<p>Lesson 5 <題材内容とねらい> ・『おさるのジョージ』の作者の人生についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、好きなマンガ・アニメとその理由を説明することができる。 <文型・文法事項> ・知覚動詞・使役動詞+O+C (=原型不定詞), 関係代名詞whatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語の音の変化に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく好きなマンガ・アニメとその理由を説明しようとしている。</p>	<p>Focus on Listening T9.10 Reading Flash L9.10 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 『おさるのジョージ』の作者の人生について理解することができる。『おさるのジョージ』の作者の人生の概要や要点を理解することができる。『おさるのジョージ』の作者の人生についてやり取りすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、好きなマンガ・アニメとその理由を説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。</p>			13

2 学 期	Lesson 6 ＜題材内容とねらい＞ ・病院で芸術作品がどのように取り入れられているかに関する具体例を読み、その内容を整理して伝えることができる。 ・芸術が患者と病院スタッフ両方に、幸福感を与えることについて説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・過去完了形・過去完了進行形、S+V+O (+O) (=疑問詞節) について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・考えや意図をうまく伝えるための表現に注意して、英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく幸福を感じるときについて説明しようとしている。	Focus on Listening T11.12 Reading Flash L11.12 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus	○	○	○	【知識・技能】 病院が芸術作品を取り入れていることに関するデータを見て考えることができる。さらにどのような効果があるかについてやりとりすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、芸術作品が人間に幸福を与えることについて説明することができる。 【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。	○	○	○	14
	中間考査		○	○			○	○		1
	Lesson 7 ＜題材内容とねらい＞ ・海洋プラスチック汚染についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、世界的な環境問題の解決のためにできることについてパラグラフを書くことができる。 ＜文型・文法事項＞ ・S+V+it+C+to-不定詞、関係副詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・パラグラフの構造に注意して、英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・読み手に配慮して、世界的な環境問題の解決のためにできることについてわかりやすく書こうとしている。	Focus on Listening T13.14 Reading Flash L13.14 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus	○	○	○	【知識・技能】 海洋プラスチック汚染についての会話や講義を理解することができる。海洋プラスチック汚染についての英文の概要や要点を理解することができる。海洋プラスチック汚染についてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、世界的な環境問題の解決のためにできることについてパラグラフを書くことができる。 【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。	○	○	○	14

3 年	<p>Lesson 8 <題材内容とねらい> ・近藤絨子さんのストーリーを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、平和の定義について説明することができる。 <文型・文法事項> ・仮定法過去、仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・キーワードや言い換え表現に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ディスカッションにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく平和の定義について説明しようとしている。</p>	<p>Focus on Listening T15.16 Reading Flash L15.16 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 近藤絨子さんのストーリーを理解することができる。近藤絨子さんについての英文の概要や要点を理解することができる。近藤絨子さんについてやり取りすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、平和の定義について説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。</p>				14
	<p>期末考査</p>		○	○			○	○		1
	<p>Lesson 9 <題材内容とねらい> ・将来の人間とAIのあるべき姿についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、人間とAIが共存する将来について説明することができる。 <文型・文法事項> ・分詞構文（現在分詞）、関係詞の非制限用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・事実や情報をわかりやすく伝えるための表現に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・広告の構成を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく人間とAIが共存する将来について説明しようとしている。</p>	<p>Focus on Listening T17.18 Reading Flash L17.18.19.20 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 将来の人間とAIのあるべき姿を理解することができる。将来の人間とAIについての英文の概要や要点を理解することができる。将来の人間とAIのあるべき姿についてやり取りすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、人間とAIが共存する将来について説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。</p>				14

期	Lesson 10 <題材内容とねらい> ・各国の成人年齢について理解し、成人ができることの確認とそれについての考えることを整理して伝えることができる。 ・将来どのような大人になりたいかについてわかりやすくスピーチすることができる。 <文型・文法事項> ・分詞構文（過去分詞）、さまざまな助動詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・事実や情報をわかりやすく伝えるための表現に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・聞き手や読み手に配慮して、どのような大人になりたいかについてスピーチしようとしている。	Focus on Listening T19.20 Reading Flash L21.22.23.24 Warm-up Did You Know? Passage/New Words/Listening Key Ideas Word Focus Sound Focus Grammar Exercises Make It Your Own Summarize Focus on Language Activity Plus				【知識・技能】 各国の成人年齢について理解し、成人ができることの確認とそれについての考えたことを整理して伝えることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、成人することの意義について説明し、意見を交わすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。				14
	学年末考査									1
										合計
										140

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現I

教科：外国語 科目：論理・表現I 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～7組
 使用教科書：（ be English Logic and Expression I Clear ）

- 教科 外国語 の目標：
 【知識及び技能】外国語の学習を通じて、コミュニケーションに必要な知識や技能を身につける。
 【思考力、判断力、表現力等】場面や目的に応じて、外国語で的確に意思を伝え合う。
 【学びに向かう力、人間性等】他者を尊重し、お互いの意見を外国語で表現し合う。

科目 論理・表現I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>【知識及び技能】 高校生が休日や休暇中のこと、予定や未来のこと、今までの経験について、学習や学校での活動など自分のことや身近な人のことなどについて、使用する語句や文、対話の展開などを習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 習得した知識を活かし、自分自身や身近な人のことについて、使用する語句や文、事前の準備において情報や考えを基に基本的な語句を用い、論理性に注意して話して伝える力を磨く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた場面を、自分の日常を想定しながら取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他人との会話において、自分のことや休日にしたこと、次の休日の予定、自分の経験、学習や課外活動を話題にして、文の種類や基本時制・完了時制を学ぶ。 ・自分の普段の生活、最近の休日、行ったことのある場所や初めての体験などを詳しく書いて伝える。 ・ワークブックを積極的に活用する。 ・端末を活用しながら、お互いの作文を比較できるようにする。 	○	○	○	<p>【知識・技能】 文の種類・文型・時制という、異なる角度から文の成り立ちを理解し、場面における表現方法を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 文の種類・文型・時制のそれぞれを、状況に応じて的確に判断し、表現していく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 状況に応じたコミュニケーション方法を活用しようとする努力し、自分の意見と他人の意見の意思の疎通を心がける。</p>	○	○	○	9
定期考査						○	○	○	1
<p>【知識及び技能】 食べ物、学校生活、日常生活、対ものや交通についてなど日々の生活のことについて、使用する語句や文、対話の展開などを習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 習得した知識を活かし、食べ物、学校生活、日々の生活について、使用する語句や文を用い、論理性に注意して話して伝える力を磨く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた場面を、自分の日常を想定しながら取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話において、食べ物、学校生活、日常生活、建物や交通などを話題にして、助動詞を学ぶ。 ・自分の日々の生活などを詳しく書いて伝える。 ・ワークブックを積極的に活用する。 ・端末を活用しながら、お互いの作文を比較できるようにする。 	○	○	○	<p>【知識・技能】 助動詞がどのように動詞の意味を補足するかや、受動態と能動態との視点の違いを理解し、場面における表現方法を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 助動詞を、状況に応じて的確に判断し、表現していく。受動態を場面に応じて表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 状況に応じたコミュニケーション方法を活用しようとする努力し、自分の意見と他人の意見の意思の疎通を心がける。</p>				9
定期考査						○	○	○	1

	<p>【知識及び技能】 将来について、健康について、電化製品について、趣味・興味について、使用する語句や文、対話の展開などを習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 習得した知識を活かし、今後のことや将来のこと、健康や運動について、電子機器や電化製品のこと、趣味や興味を持っていることについて論理性に注意して表現する力を磨く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた場面を、自分の日常を想定しながら取り組む。</p>	<p>・将来や健康、電化製品を話題として、不定詞を学ぶ。</p> <p>・趣味・興味について会話をしながら、動名詞を学ぶ。</p> <p>・ワークブックを積極的に活用する。</p> <p>・端末を活用しながら、お互いの作文を比較できるようにする</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 不定詞・動名詞という、動詞から派生した表現法を理解し、場面における表現方法を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 不定詞・動名詞のそれぞれを、状況に応じて的確に判断し、表現していく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 状況に応じたコミュニケーション方法を活用しようとする努力し、自分の意見と他人の意見の意思の疎通を心がける。</p>	○	○	○	13
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	<p>【知識及び技能】 自然について、トラブル・困難について、発明・発見、職業・社会活動について、使用する語句や文、対話の展開などを習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 習得した知識を活かし、自然や動植物のこと、困ったことや困難な状況について、技術・発明・発見・偉業について、職業や社会活動について、論理性に注意して話して伝える力を磨く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた場面を、自分の日常を想定しながら取り組み、積極的に情報交換をする。</p>	<p>・自然や動植物、トラブルや困難なことを話題として分詞を学ぶ。</p> <p>・技術・発明・発見・偉業、職業や社会活動について会話をしながら、関係代名詞を学ぶ。</p> <p>・行事や習慣を話題にしなが関係副詞を学ぶ。</p> <p>・ワークブックを積極的に活用する。</p> <p>・端末を活用しながらお互いの作文を比較できるようにする。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 関係代名詞・関係副詞という、1文内に複数の主語・動詞を持つ文の成り立ちを理解し、場面における表現方法を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 関係代名詞・関係副詞のそれぞれを、状況に応じて的確に判断し、表現していく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 状況に応じたコミュニケーション方法を活用しようとする努力し、自分の意見と他人の意見の意思の疎通を心がける。</p>	○	○	○	9
	定期考査						○	○	○	1

2 学 期	<p>(2)コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付ける <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 メディアとコミュニケーション 情報デザイン 教材 教科書、副教材、パソコン教室 ソフトウェアおよび配布データ、 クラウドサービスの活用 等 CALL室、一人1台端末の活用 等 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けている <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善している <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画している 	○	○	○	6
	<p>(3)コンピュータとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 コンピュータの仕組み 教材 教科書、副教材、パソコン教室 ソフトウェアおよび配布データ、 クラウドサービスの活用 等 CALL室、一人1台端末の活用 等 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている 	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	<p>(3)コンピュータとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身につける 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善する 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 アルゴリズム プログラミング モデル化 シミュレーション 教材 教科書、副教材、パソコン教室 ソフトウェアおよび配布データ、 クラウドサービスの活用 等 CALL室、一人1台端末の活用 等 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身につけている 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善している 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている 	○	○	○	12
定期考査					○	○		1	

3 学 期	<p>(4)情報通信ネットワークとデータ活用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する ・データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解する ・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考える ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考える ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う ・情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 情報通信ネットワーク 情報セキュリティ データの活用 ・教材 教科書、副教材、パソコン教室 ソフトウェアおよび配布データ、 クラウドサービスの活用 等 ・CALL室、一人1 台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している ・データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解している ・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けている <p>【思考力・判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えている ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えている ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善している <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている 	○	○	○	15	
	定期考査				○	○		1
							合計	70